



～ 「やろう」という気持ちを！！ ～

2学期の始業式では、次のようなお話をしました。

始業式で話したこと

ピッカリ！
ピッカリ！



あらためまして、西神吉っ子のみなさん、おはようございます。

今日から、2学期が始まりました。1年生から6年生、先生たち全員が久しぶりに揃いました。あらためて、またみんなで一緒に生活していくので、みんなで、元気に「よろしくお願いします」の挨拶をしましょう。

校長先生が「よろしくお願いします」と言ってから礼をするので、その後で、みんなも「よろしくお願いします」と言って礼をしましょう。

「よろしくお願いします」(礼)

さて、1学期の終業式の時に校長先生から、夏休みは3つのことを守って元気いっぱい過ごしてほしいというお話をしました。覚えていますか？

1つ目は、宿題だけでなく、興味のあることにたくさんチャレンジしてほしいということ。

2つ目は、家族のためにできることをして、家族で過ごす時間を大切にしてほしいということ。

3つ目は、事件や事故、病気に気を付けて、健康で安全な生活をしてほしいということ。

3つとも守れましたか？特に一番大切にしてほしいのは、3つ目の「健康で安全な生活をしてほしい」ということです。夏休み中、事件・事故、病気等の連絡がなかったのも、みんなちゃんと約束を守って生活できたこと、みんな元気に始業式の日を迎えられたことを校長先生は本当にうれしく思っています。夏休み中のことで、もし不安なことや心配なことがあれば、先生たちに伝えてくださいね。

さあ、いよいよ2学期が始まります。2学期は、毎日の勉強や運動だけでなく、運動会、音楽会、自然学校、マラソン記録会など、たくさんの大きな行事が待っています。これらの行事は、みんながそれぞれに大きく成長するチャンスです。そのチャンスを生かすために、みんなに意識してほしいことがあります。それは、「させられる」という気持ちではなく、「やろう」という気持ちで取り組んでほしいということです。

もし、「させられる」という気持ちでやれば、誰かが見ていなければ、きっとさぼったり、いい加減なことをしてやり過ごすでしょう。ご褒美がないとがんばらないでしょう。そして、自分の力も伸びないし、いい思い出にもなりません。逆に、「やろう」という気持ちでやれば、誰が見ていようと見てなかろうと関係なく、目標をもってがんばるでしょう。「速く走りたい」とか「いい演奏をしたい」とか、目標に向けて努力し、それが自信へとつながっていきます。

そうです。「させられる」という気持ちではなく、「やろう」という気持ちがあれば、目標が生まれ、努力できるのです。これは、大きな行事だけではなく、毎日の勉強や運動にも言えることです。「やろう」という気持ちで生まれた目標は、誰かと比べる必要はないことだし、どんなに小さな目標だっていいんです。「今日は、手を挙げて1回は発表しよう」とか「覚えられなかった漢字を1つだけでも覚えよう」「苦手な算数をがんばってみよう」とか。あるいは「大きな声であいさつをしよう」とか「チャイムを守ろう」「掃除をがんばろう」とか。それなら、結構できることはたくさんあると思います。「やろう」と思っただけでがんばったことは、どんなに小さなことであっても、達成できた毎日の積み重ねが、自分への自信やもっと頑張ろうという気持ちにつながります。

とは言っても「やろう」という気持ちで努力するのは、難しいことでもありますね。でも、よく考えてみましょう。みんなは1人ではありません。みんなには、クラスの仲間がいます。先生がいます。家族がいます。地域のみなさんがいます。だから、自分から「やろう」という気持ちをみんなで高め合あって、今日から始まる2学期をがんばってほしいと思います。そして、2学期の終業式の日、自信をもって「成長できた」と言えるように、がんばっていきましょうね。

これで、校長先生のお話を終わります。

(この後、生徒指導担当の先生から「き(きまりを守る)」「あ(暑さ対策をしっかり)」「い(命を大切に)」というお話がありました。)

明日からは給食が始まり、いつも通りの学校生活になります。まだまだ暑い日が続きますが、熱中症対策を忘れずに、心と体を夏休みモードから学校モードへと切り替えていきましょう。ゆっくり、ゆっくり…。